

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	14-6
PDCA	主要事業名	半田赤レンガ建物通路天井改修事業	部課名	市民経済部 観光課	担当	伊藤	
					内線	324	

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 1 単位施策： 観光					
	全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 3 年度 全体事業費等： 14,969 千円					
	会計 一般会計 歳出科目：06.01.04.03.52					
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： 14,800 千円					
	事業概要等	事業概要： 半田赤レンガ建物の展示室前通路アーチ型の天井からレンガ片が剥離したため、来場者の安全確保と快適な施設見学のため、天井の安全対策工事を行う。				
		事業目的： 半田赤レンガ建物来場者の安全確保				
		事業内容： 通路天井改修設計業務委託、通路天井改修工事				
		問題点・登録有形文化財としての建物の価値を残しつつ、来場者の安全を課題等： 確保した施工方法の検討が必要。				
	予算額	主要事業とする理由				
	14,969 千円	多額の費用を要する工事であるため。				
財源内訳						
市費	得られる成果					
0 千円	来場者の安全性が確保され、快適な施設見学が可能となる。					
国費						
0 千円	目標値や目指すべき状態					
県費			令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
0 千円	工事の進捗率	実績値	—	—	—	%
		目標値	—	—	100	%
		実績値				
		目標値				
その他		実績値				
14,969 千円		目標値				

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果				
	8,368 千円	来場者の安全性が確保され、安心して来館してもらえる環境が整えられた。				
		成果指標		令和3年度	単位	
		工事の進捗率	実績値	100	%	
			目標値	100	%	
			実績値			
			目標値			
			実績値			
			目標値			

C 課題の整理	事業の評価・課題	A 工事の施工方法について、設計段階から安全性、コスト面、文化財価値の保全、その後の管理への影響等を比較する中で、最善の方法を検討し、当初の予定よりも安価で且つ安全性を確保できる施工方法を選択できた。また、工事の施工時間について、半田赤レンガ建物の管理運営に影響が少なくなるよう展示室閉館後の時間を使って工事施工することとし、来館者に影響が出ないよう配慮することができた。				
------------	----------	---	--	--	--	--

A 今後課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	終了 工事完了により事業終了。				
	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト ある		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	削減余地 ※手段の変更		
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない		

目標項目（予算計上時に作成）					
評価項目（決算時に作成）					
主要施策の成果報告書で活用					